

「企業会計」の決算状況

● 病院事業

● 収益的

・ 収入 123億7,489万円

・ 支出 123億4,476万円

● 資本的

・ 収入 4億1,243万円

・ 支出 9億2,849万円

◇ 収益的収支が8年連続の黒字

脳卒中センター開設をはじめとした医療の質の向上、収益の確保、薬品・診療材料費の価格交渉など費用の削減に努めた結果、収支状況は約3,013万円の黒字となりました。

● 水道事業

● 収益的

・ 収入 22億4,783万円

・ 支出 19億1,208万円

● 資本的

・ 収入 2億4,988万円

・ 支出 8億6,906万円

◇ 収益的収支が15年連続の黒字

給水戸数及び事業用使用量の増加に伴う水道料金収益の増加、受水費等の削減により、約3億3,575万円の黒字となりました。

● 下水道事業

● 収益的

・ 収入 40億4,597万円

・ 支出 39億6,630万円

● 資本的

・ 収入 20億3,061万円

・ 支出 31億6,261万円

◇ 公営企業法適用後初の決算で、収益的収支が黒字

平成28年度より公営企業法の全部を適用し、初年度の収支状況は約7,967万円の黒字となりました。



半田市の財政を家計にたとえてみると

1か月の支出44万1千円(※)をまかなうのに、月収(市税など)や実家からの仕送り(国庫支出金、県支出金)など、45万5千円の収入がありました。

これからは家族の医療費(扶助費)や家の補修費用(維持補修費)の増加が見込まれるため、生活費(人件費、物件費など)を切り詰めるとともに、できるだけ貯金(基金)を増やすことも考えなくてはなりません。

はんだ家1ヶ月の家計簿

※()は予算上の項目です。

収 入		支 出	
月収(給料、各種手当) (市税、地方交付税、地方譲与税ほか)	31万2千円	家族の医療費など (扶助費)	10万5千円
パートなどの副収入、資産活用、雑収入など (使用料、負担金、財産収入など)	3万5千円	ローンの返済 (公債費)	2万9千円
実家からの仕送り (国・県支出金など)	8万8千円	生活費(食費、光熱費など) (人件費、物件費)	12万7千円
ローンの借入 (市債)	3千円	家の増改築、補修など (維持修理費、普通建設事業費)	5万2千円
先月の残り (繰越金)	1万7千円	家族への仕送り (繰出金、補助費)	9万8千円
合 計	45万5千円	貯金、その他雑費 (基金積立金など)	3万円
		合 計	44万1千円

※日本の一世帯当たりの平均所得月額45万5千円に、半田市の一般会計歳入歳出決算額に占める各費目の割合を乗じ、一般家庭に相当するそれぞれの額を算出しています。(参考:厚生労働省「平成28年国民生活基礎調査」)